

医療費助成制度見直し

負担増の声をあげよう

許せない！高齢者医療は実質廃止に
障害者・高齢者は大幅負担増

大阪府が福祉4医療費助成制度の見直しを検討しています。患者の自己負担額を2500円から4500円程度に引き上げ、同一医療機関での月3回目以降の入通院無料化も撤廃する方針です。さらに、65歳以上の助成については、精神障害者（1級以下）・難病患者（重度以外）・結核患者を助成対象から外そうとしています。

精神障害・難病への対象拡大に必要な府の財源はあります。「カジノ万博」より福祉や医療にお金をまわすべきです。

見直し案では
1医療機関1日500円までは同じですが…

- 院外処方の場合、薬局で新たに上限500円まで必要で1日あたり最大2倍の負担増
- 1医療機関あたり月1000円の上限を撤廃し、3回目以降も毎回500円の負担
- 入院の場合も現行2日間限度（1000円）、3日目以降も支払いが必要となり1か月入院で15000円の負担



府民を守る

防波堤が府の役割

大阪府独自の助成制度は切実な住民要求と運動によって実現したものです。現行の助成制度を抜本的に拡充し、厳しい生活実態におかれている府民のくらしを守る防波堤の役割を今こそ大阪府が果たすべきです。

償還払いと
言うけれど…



府は「一定の負担額以上（3000円と4500円の2案）は償還する」と言っていますが、手続きの煩雑さや仕事を休んで申請するなど負担が増えることになります。



市議会で
意見書採択

「患者負担増に反対！ 助成制度の拡充を」

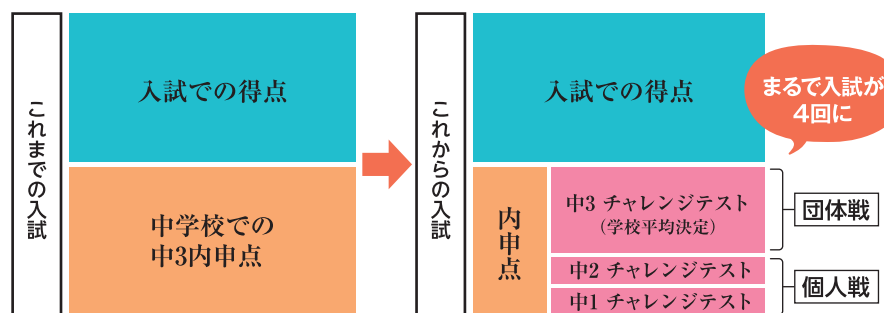
府の助成制度「見直し」に対し、**堺市議会**「患者負担引き上げは絶対に行わず、65歳以上の対象外しをやめ、助成制度の拡充を強く求める」をはじめ、**茨木・高石・泉大津・泉佐野**の市議会で「意見書」採択されています。

不公平！教育をゆがめる

チャレンジテストは廃止・撤回を

毎年くるくる変わる府の公立高校入試。中学1・2年のテスト（個人戦）と中学3年のテスト平均点を中学校ごとに評定した結果（団体戦）を加算して入試の内申点に反映されます。ある校長も「チャレンジテストで失敗すると取り返しがつかない」と訴えるなど、各中学校や保護者から大きな怒りの声が上がっています。

※チャレンジテストとは、大阪府内の公立中学校の1～3年生全員（約22万人）が受験。1、2年生は年度末の1月に行い、得点に応じて個人の内申書の成績を変更し、3年生は6月に実施。



中3年チャレンジテスト

生徒同士を分断！これが教育なの!?

- ① 6月のテストで、各学校の内申平均が決定されます。（6月以降に、いくら頑張っても反映されません）
- ② 5教科のテスト結果で、テスト教科対象外の「音・美・体・技家」の内申平均も決定されます。（体育や音楽などが優れていても反映されません）

中1・2年チャレンジテスト

たった1回のテストで評定が下がるの!?

- **中1英語の場合**…テストが50点以下で「3」、26点以下で「2」に下げられます。（学校の成績評定が「4」以上でも）
- **中2国語の場合**…テストが83点以上で「5」、71点以上で「4」に上がります。（学校の成績評定が「3」以下でも）

*府教委作成、H27年度「評定の範囲」より



明るい民主府政

発行/2017年1月12日 第832号
明るい民主大阪府政をつくる会

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館3階
TEL.06-6357-5333 FAX.06-6357-5303

Mail: akarui@mba.sphere.ne.jp
HP: <http://osaka-akarui.com/>

明るい会

検索

「明るい会」は、大阪商工団体連合会、大阪府保険医協会、新日本婦人の会、全大阪労働組合連合会、日本共産党など56の団体・政党で構成しています。

「明るい民主大阪府政をつくる会」は次の見解を出しました。

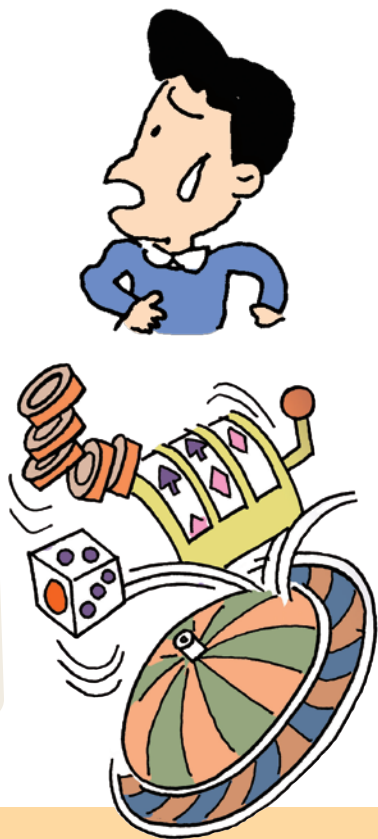
「カジノ（賭博）解禁」も、「誘致」もNO！

これだけの問題点

昨年末、「延長国会」のどさくさに「カジノ（賭博）法案」が自民と維新、公明党の多数によって強行されました。

しかし、どの世論調査でも「カジノ解禁は反対」の声が多数です。

「実施法づくり」にも、「大阪誘致」にもきっぱりNOの声を。



「カジノ」は刑法が禁じる賭博そのもの

「カジノ」は刑法185条が禁じる「賭博」そのものです。しかも、「カジノ」は「公営ギャンブル」でなく、「民営ギャンブル」です。どう理屈を並べても、賭博罪を免罪することは許されません。

「カジノ」の収益で「ギャンブル依存症対策」!?

すでに日本ではギャンブル依存症が536万人にも。「カジノ解禁」でこれにさらに広がることは明白です。本気でギャンブル依存症対策にとりくむというのなら、「カジノは禁止」こそ方策です。

「カジノはIRの一部」というごまかし

「カジノはIR（統合リゾート施設）の一部」という人がいますが、売り上げの中心はカジノです。IRを楽しもうという家族連れの人々を含め、カジノに引き込まれてしまいます。

カジノが「成長戦略」?!

ギャンブルは何の生産物も生み出さず、人の不幸を踏み台に儲けるだけのものです。アメリカなどでは、カジノ施設そのものが倒産しています。反社会的犯罪も増え、経済効果にとってもマイナスです。

安倍政権と維新「カジノ万博」誘致「改憲」協力へ

大阪では、松井知事らが「IR＝カジノ」とセットで「夢洲」に「万博」を誘致しようとしています。安倍政権はこれを後押しし、引き換えに「改憲」での協力を働きかけています。



問われる大阪の公明党

公明党は、大阪選出の衆参全議員が「カジノ法」に「賛成」。佐藤府本部代表は「共産党なんかと一緒に反対する選択はそもそもなかった」。世論調査では公明党支持者の7割が「反対」。その見識が問われます。

■公明党議員の採決での賛否とコメント（敬称略）			
＜小選挙区＞			
大阪3	佐藤茂樹	○	共産党なんかと一緒に座って反対する選択はそもそもなかった
大阪5	国重徹	○	もっと慎重で丁寧な審議が必要だったが、総合的に判断した
大阪6	伊佐進一	○	実施法に向けてギャンブル依存症対策を議論していきたい
大阪16	北側一雄	○	実施法段階では厳しい付帯決議を元に法制化されることを期待